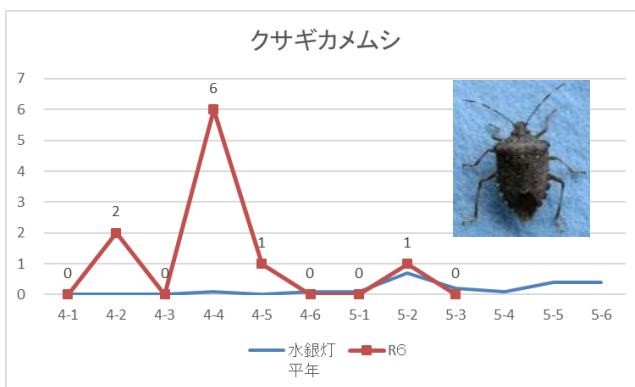


果樹カメムシ類の誘殺急増 多発生に注意!!

チャバネアオカメムシやクサギカメムシは、ナシやカキ、ブドウ等の果実を吸汁することで被害をもたらします。現在農試内予察灯における捕獲数が非常に多くなっており、6月の気温は高い予想であり、活動に好適であることから、カメムシ類による被害が多発する恐れがあります。発生状況を確認、防除を徹底し、被害を防ぎましょう。

1 予察灯における捕獲状況

令和6年4月1日から5月15日までの農業試験場予察灯における捕獲数は、チャバネアオカメムシが16頭、クサギカメムシが10頭で、平年より非常に多く、発生時期が平年より早まっています。



農業試験場予察灯における捕獲状況

2 防除対策

- ・圃場周辺も含めて見回りを徹底し、カメムシを確認したら、すみやかに防除する。
- ・多発してからの薬剤散布では防除効果が劣るので、発生初期の散布を徹底する。
- ・果樹カメムシ類は、夜行性であるため、防除は夕方が最も効果的である。
- ・薬剤は令和6年度福井県農作物病害虫防除指針を参照。

令和6年度農作物病害虫防除指針 <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html>

◇◇◇ 最新の農業登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

福井県病害虫防除

連絡先：0776 (54) 9315

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>

QRコードをスキャンしてください



農薬の飛散に注意し、安全に使用しましょう

病害虫の適期防除に努めましょう